

FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.

Group Vision

2026-2030 Ver. 1.0

2026年5月12日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス



Group Vision 2026-2030 Ver. 1.0

現在、2月3日に公表した通り、都市開発・観光事業について、外部資本の導入及びオフバランスの検討を進めています。

今回公表のVersion 1.0に続き、都市開発・観光事業における外部資本導入の確定後に改めてVersion 2.0を公表します。

Version 2.0では、キャピタルアロケーションを含む資本政策の詳細、数値目標等のアップデートならびにVersion 1.0の進捗状況を反映する予定です。

Contents	01 経営ビジョン	02 中期目標
	03 成長戦略	04 成長戦略を支える 人的資本戦略
	05 サステナビリティ	
	10	27

01

経営ビジョン

“好きでつながる明日をともに”

私たちはコンテンツへの興味や共感から生まれる「好き」を起点に、
人と人が安心してつながる未来を生み出していきます

FMHグループは、事業活動のあらゆる場面で、3つの価値観を大切にします

大切に する 価値観

信頼性

正確で公平な情報発信と、高い人権・
コンプライアンス意識、徹底したガバナンス体制で、
社会から信頼されるコンテンツカンパニーを目指します

クリエイティビティ

「無から有を生み出す創造の力」と
「誰かに届けたいという思い」を形にして、
新しい出会いを提供していきます

共創・共生

パートナーやクリエイター、生活者とともに
IP・コンテンツを創造し、多様な価値観が共存できる
文化の創出に貢献します

FMHグループは、
コンテンツを「生み出し・届け・拡張する」力で、「好き」という想いを拡げます

目指す姿

IP・コンテンツを生み出す力

長年培ってきた企画力・制作力を駆使し、
心を豊かにするオリジナルIPの創出から、つながりを生む
コンテンツまで、社会に新たな価値を生み出していきます

メディアを駆使した展開力・到達力

FMHメディアに加え、ソーシャルメディアや
外部プラットフォームを活用し、
IP・コンテンツを届け、熱量とIP価値を最大化します

価値を拡張する共創の仕組み

多様な共創を通じて
IP・コンテンツを多角的に展開し、
人々が集い、共感し、つながる「場」を創出します

02

中期目標

FMH価値創出ループ

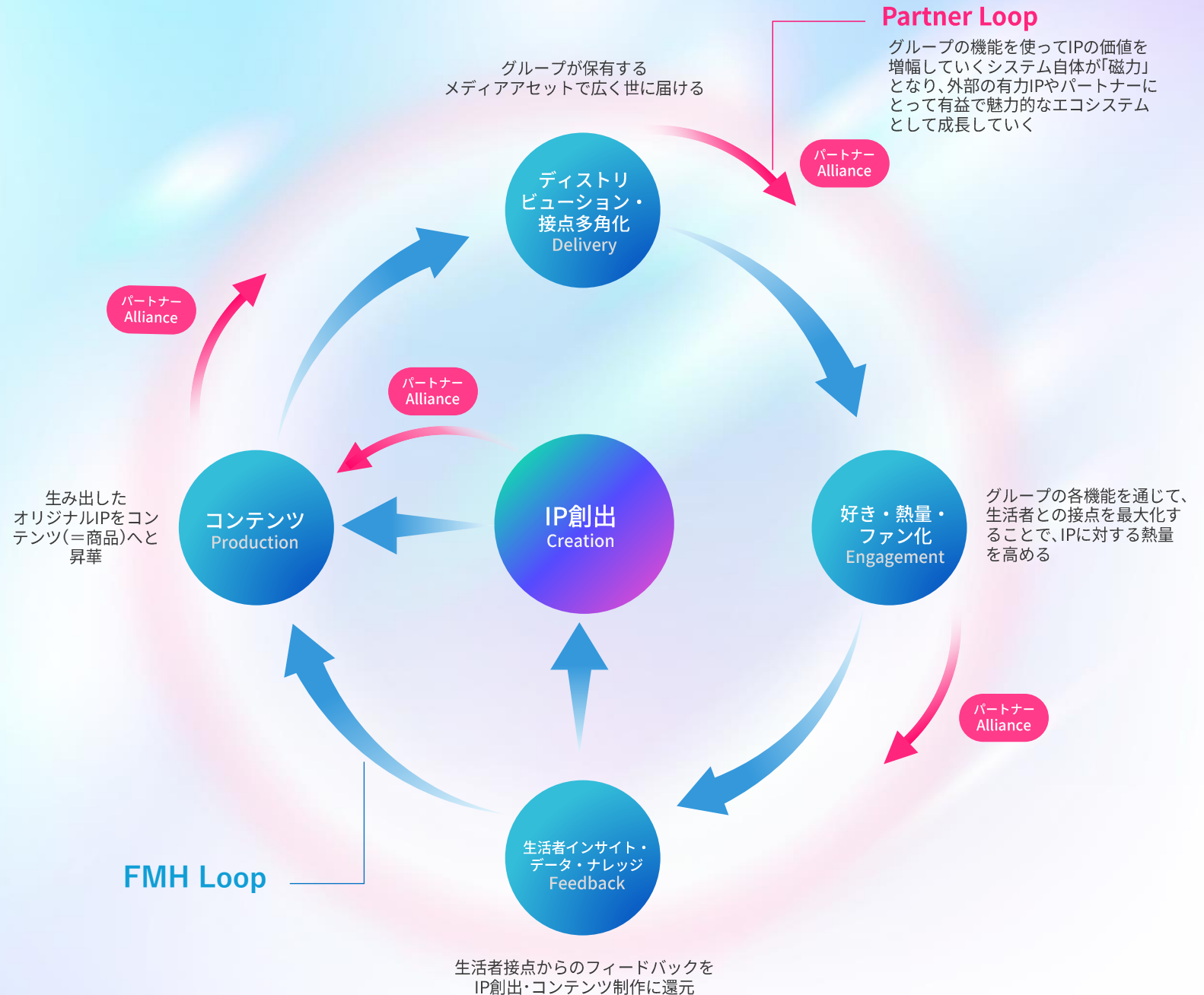
成長が次の成長を生み出す「価値創出ループ」

一気通貫モデルのループがIPに対する生活者の「好き」の熱量を高め、IPの価値を向上させる

IPの創出から、メディア等を通じたディストリビューションと育成、多角展開まで、グループ内の機能で完結できる「IPバリューチェーンの一気通貫モデル」を構築。各IPへの生活者接点を最大化することで熱量を高め、そこから得られるフィードバックを通じてIP育成ノウハウやデータ、インサイトを蓄積、新たなIP創出へとループさせる

IPを育てる土壌としてのブランド価値が外部IPやパートナーとの連携を加速させる

ファンの皆様に喜んでいただくことでIPが育ち、IPが育つことで「好き」のデータが集まり、データが集まることで次のIPが洗練される。この一連の循環を繰り返すことで、IP育成のプロフェッショナル・グループとしてのブランド価値を醸成し、クリエイターやパートナー企業との連携を加速させる



FMHが目指す事業構造

IPバリューチェーンの各機能を強化し、一気通貫で束ねることで競争優位を確立
パートナーと共にIP価値を最大化できる独自のポジションを実現する

IP開発・獲得

IP種類・数の拡大

様々な市場に向けオリジナルIP開発を強化、
種類と量を拡大

グループが有するディストリビューション力、
多角展開力を必要とする他社有力IPとの協業
を推進

拡大

オリジナルIP
外部
パートナーシップ

制作・ディストリビューション

機能強化

制作ライン強化や人材増強により商品力を強化し、
多様な収益の獲得を目指す

放送は「収益獲得の有力なチャネルの一つ」として
シェア拡大を目指す

放送・広告
映像・音声制作
配信
デジタルメディア

強化

グローバル展開

多様なIP・コンテンツの供給体制を強化し
成長率の高いグローバル市場に向け拡張

IP多角展開

事業領域拡張

規模が大きく成長率の高い「グッズ製造・販売」
や、エンゲージメントを高める「ライブエンタ
テインメント」「ファンダム・コミュニティ」に
事業領域を拡張

拡張

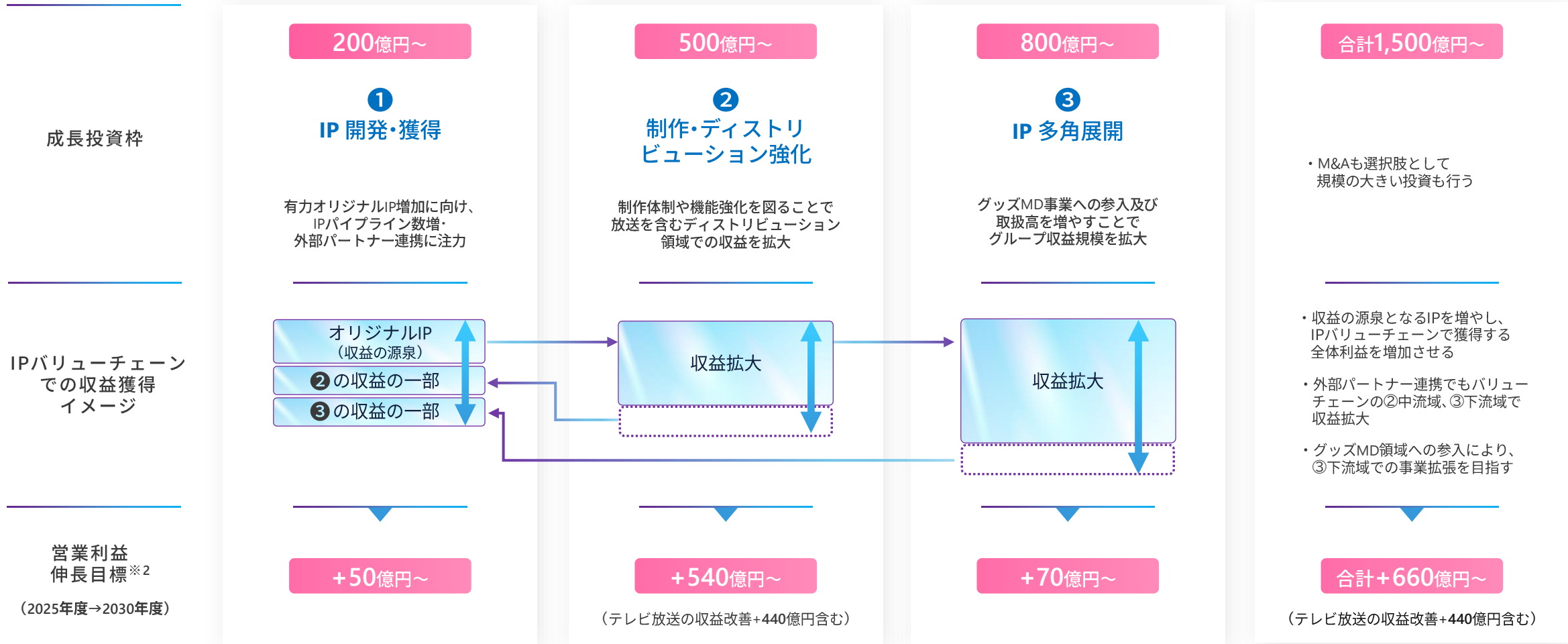
グッズ製造・販売
ライブエンタテインメント
ファンダム・コミュニティ

成長投資による営業利益伸長目標(2025年度→2030年度)

成長投資枠 5年間で 総額 1,500億円～※1

①～③の重点強化領域への大規模成長投資で、IPバリューチェーンの機能強化を行う

※1 都市開発・観光事業への外部資本導入確定後、改めて成長投資枠の金額規模を精査予定
設備投資等を含む
コンテンツ制作費は除く

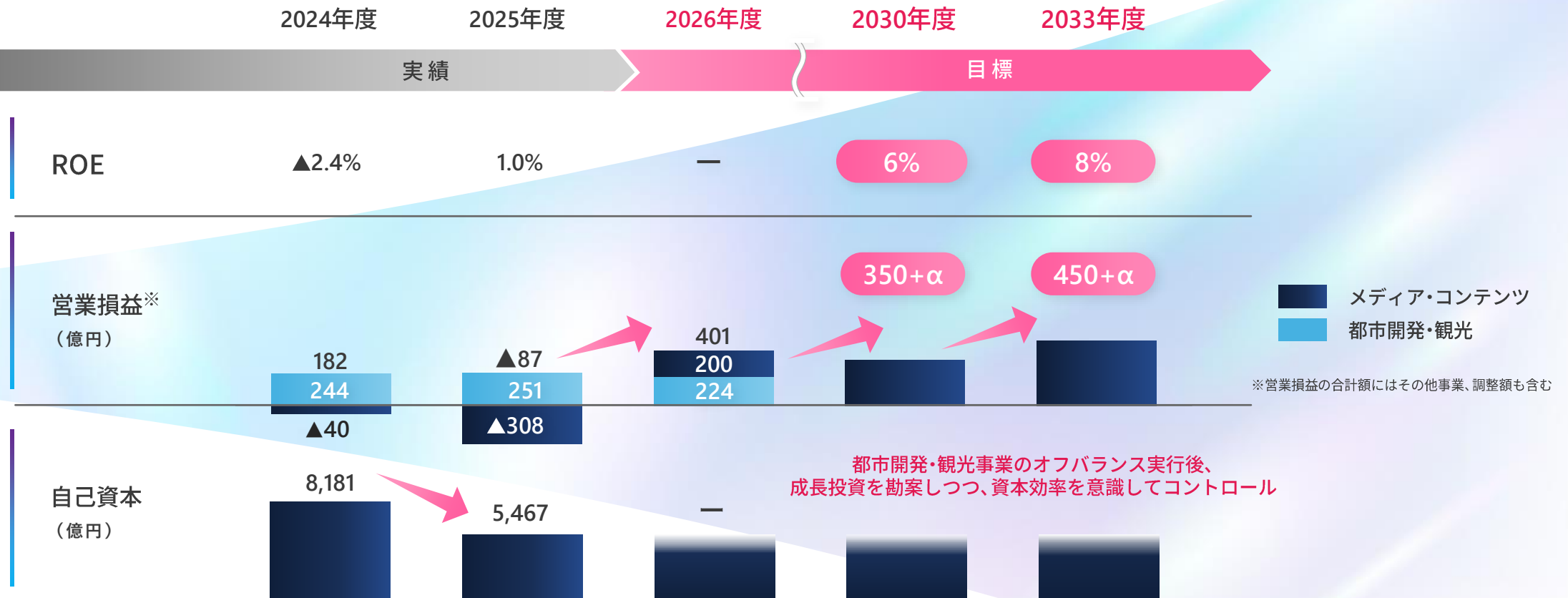


※2 2025年度のメディア・コンテンツ事業実績(▲308億円)を起点とし、2030年度の目標値350億円までの増分を示したもの

ROE8%の達成に向けて

メディア・コンテンツ事業の成長加速と自己資本の適正コントロールでROE8%を目指す

都市開発・観光事業については、現在、外部資本の導入及びオフバランスの検討を進めており、新たな体制の下で成長を目指していく方針
外部資本導入確定後、改めて営業利益や自己資本額など数値目標の全体像を公表予定



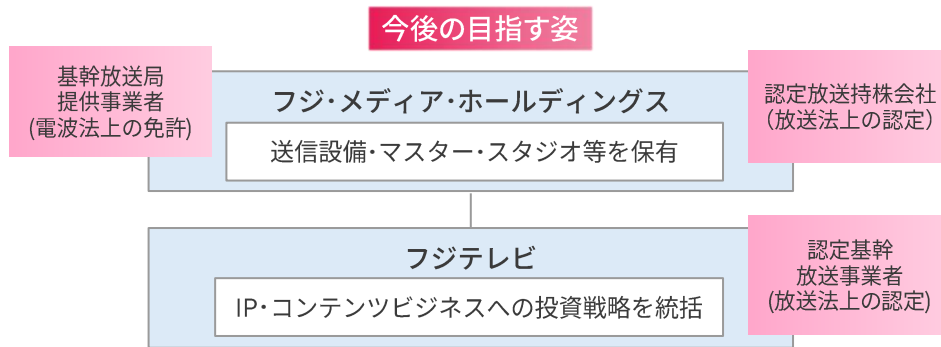
成長加速に向けたグループ実行体制

中期的に目指すFMHグループの姿 - 主なポイント -

フジテレビから放送インフラ機能をFMHに統合

フジテレビは放送局としての放送インフラ機能を分離し、IP・コンテンツビジネスへの投資戦略を統括する事業会社として競争力とアジリティを追求

FMHは放送インフラ機能を有する会社として、グループ全体に対するインフラ提供を担うとともに、将来を見据えハードアセットの最適化・活用を推進



※関連法令における許認可など必要な行政手続きを経ることが前提

フジテレビがグループ成長戦略を統括

フジテレビは、グループ成長戦略を主導する中核会社として、事業領域ごとに統括責任者を配置

戦略策定から実行、KPI管理まで一貫した経営体制を構築し、IP・コンテンツ事業の成長の牽引役に

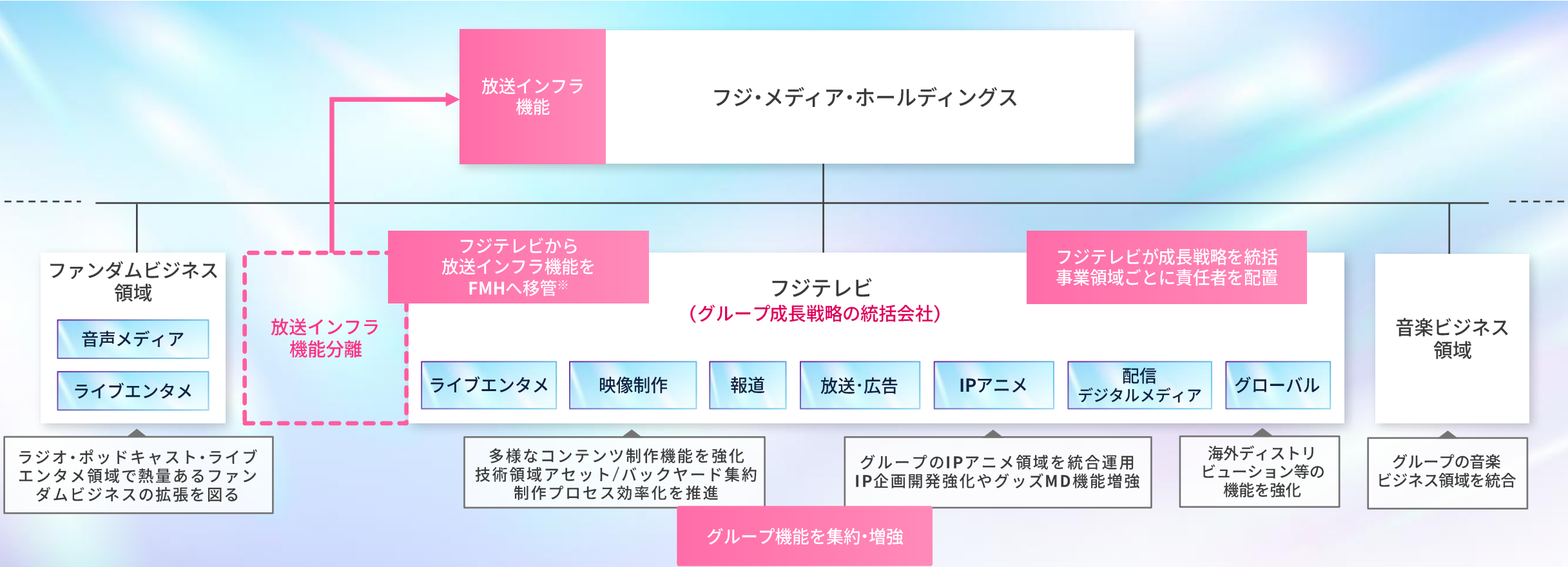
グループ機能の集約・増強

事業領域ごとにグループ連携を高め、機能の集約や増強を図ることで市場での競争力強化や効率化を推進

重点強化領域を中心にM&Aや資本提携を検討

成長加速に向けたグループ実行体制

中期的に目指すFMHグループの姿 - 全体像 -



※関連法令における許認可など必要な行政手続きを経ることが前提

03

成長戦略

FMHグループの重点強化領域と強み

重点強化

収益の源泉となるバリューチェーンの川上①と、市場が大きく多角展開で拡張可能な川下③を重点強化
強みを持つ川中②では機能を強化

機能強化

重点強化

① IP開発・獲得

② 制作・ディストリビューション

③ IP多角展開

FMHグループの強み

FMHグループが得意としてきた フランチャイズ型IP※創出モデル

IPを多面展開するフランチャイズ戦略でLTV最大化。
パイプライン増強とMD領域への拡張で、安定収益基盤を構築



映画、リメイク権販売へ



©コンフィデンスマンJP 製作委員会
ドラマ『コンフィデンスマンJP』

映画、派生作品へと拡張



©2026 フジテレビジョン
ドラマ『踊る大捜査線』

映画、舞台、派生作品、グッズ等多面展開



©サイコパス製作委員会
アニメ『PSYCHO-PASS』

総合メディア力を活かした IPの独自育成エコシステム

地上波の全国リーチ力と圧倒的な情報発信力に、
グループ各社のメディアアセットを連携し、熱量を高める



「めざましテレビ」で放送中の『ちいかわ』『パペットスンスン』に代表される、国内最大級のヒット拡散力



©ガチャムク



©ナガノ / ちいかわ製作委員会



©PUPPET SUNSUN/PS committee

03

成長戦略

①

IP開発・獲得

②

制作・ディストリビューション強化

③

IP多角展開

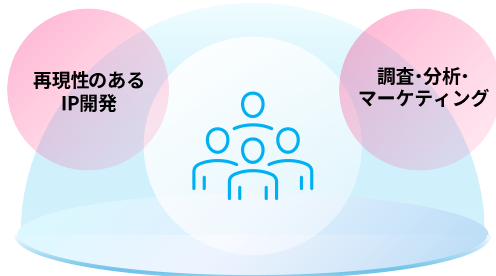
1 IP開発・獲得 | オリジナルIP開発・獲得

「オリジナルIP開発力」と「パートナーシップ強化」で収益の源泉となる「IPの種類と量」を拡大、収益多角化基盤を築く

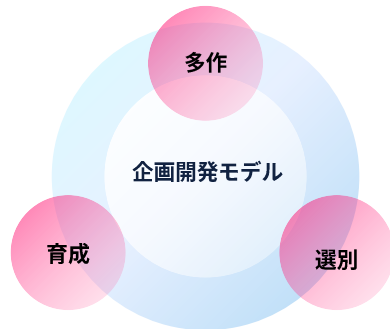
オリジナルIPパイプライン創出

200億円成長投資枠で原作原案を開発・獲得

IP開発・獲得成長投資枠200億円を活用し、ドラマ・映画・アニメなど台本のある作品や、キャラクターIPの原作原案パイプラインを創出。クリエイターの生産活動をAI技術でサポートしながら、調査・分析、マーケティング機能も具備し、ヒット再現確率の高いIP開発に取り組む。多数の試行から有望なIPを絞り込んでいく「多作・選別・育成」を軸とした企画開発モデル※を検証。リスクを抑えつつ、収益の柱となるIPパイプライン確立を目指す。グループ会社・官庁との共創や、先進技術の導入も並行して推進していく



オリジナルIPの企画開発に特化した専門組織



多数の試行から有望なIPを絞り込む

※段階的なパイプライン目標を設定
Phase-1:初期創出数100件/年
Phase-2:オンライン等トライアル展開数25件/年

最先端AI技術でヒット確率向上

企画開発プロセスにおけるAI導入

最先端のAI技術「SSR(意味類似度評価)」を中核とするコンテンツ評価システムを構築。企画選定の目利き精度を高め、ヒット確率向上を目指す

AI評価イメージ

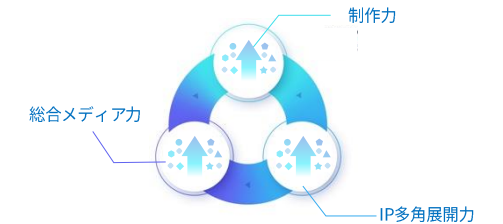
- ・ 視聴者ペルソナによる反応生成
企画書内容に基づきAIが様々な視聴者(ペルソナ)になりきって、自由な感想文を複数生成
- ・ 評価基準との意味比較
5段階評価基準とAI生成感想文の“意味の近さ”を判定
- ・ 分布・スコア化
意味の近さに応じて評価を1~5の分布に変換。平均値や意見のばらつきを算出しスコア化



SSR技術は実際の人間による評価結果と高い相関があり、信頼性の高い評価を実現

外部IPパートナーシップ強化

FMHグループの「制作力」「総合メディア力」「IP多角展開力」の各機能を強化し、ドラマ・映画・アニメ・バラエティから、イベント、ファンダム形成までを一気通貫で展開する体制を構築



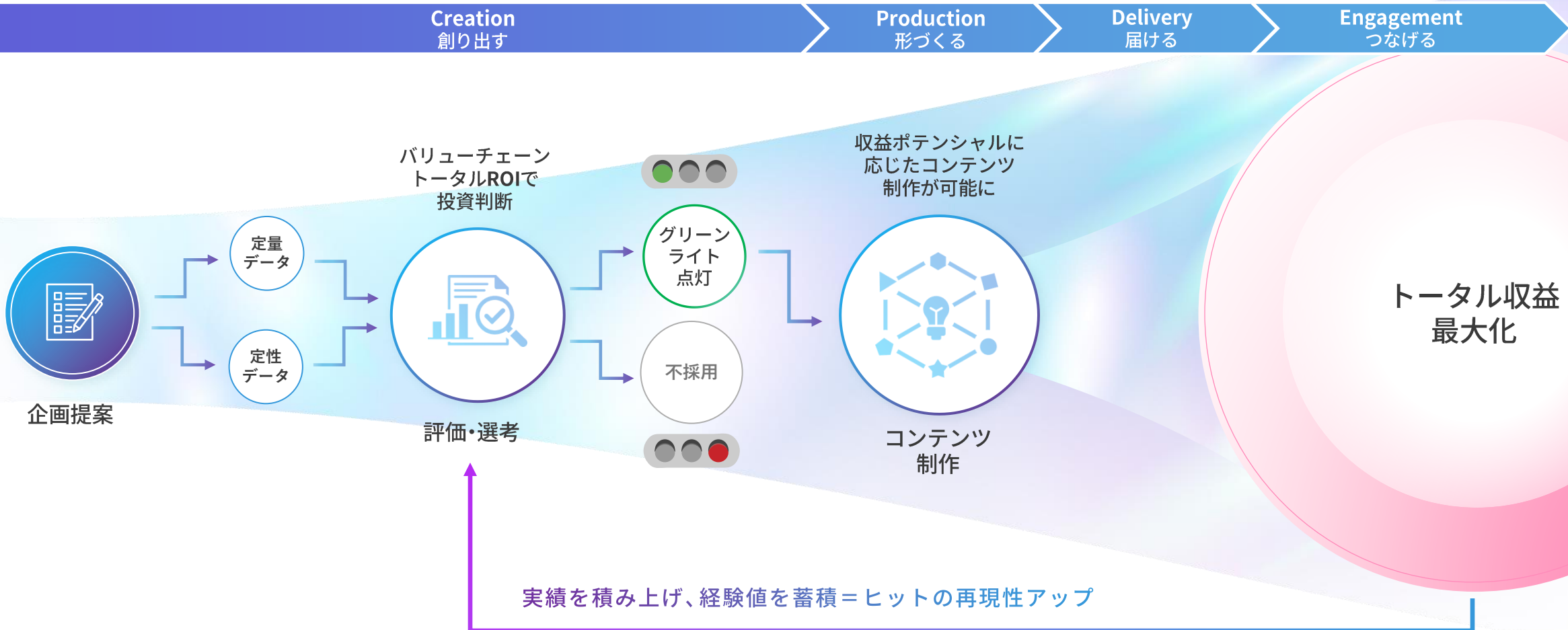
IP価値を最大化する能力を高めることで、有力IPホルダーとの連携を深化させ、次世代を担う強力なIP・コンテンツの共創を推進する



「IPバリューチェーン一気通貫モデル」を構築、外部IPパートナー連携を強化

1 IP開発・獲得 | オリジナルIP投資基準のアップデート

放送枠起点の制作費配分から、バリューチェーントータルROIでの投資判断へアップデート
従来にない大規模かつ多様な投資を可能にする「グリーンライトモデル」へ



03

成長戦略

①

IP開発・獲得

②

制作・ディストリビューション強化

③

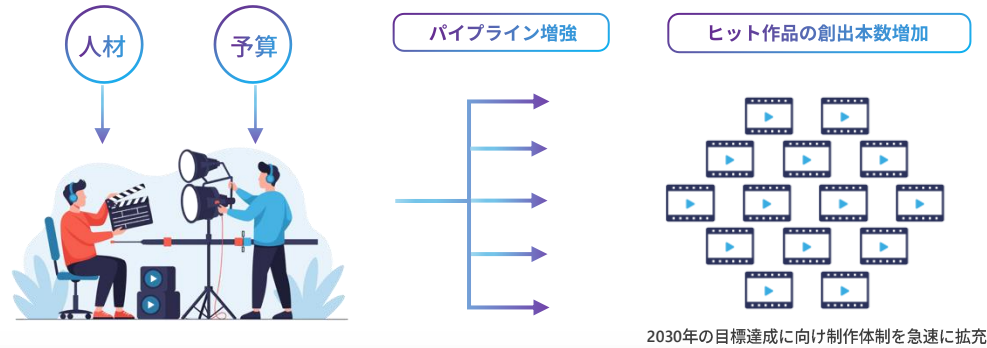
IP多角展開

2 制作・ディストリビューション強化 | 実写

制作パイプライン増強による「質・量」の強化に加え、次世代映像クリエイターとの共創体制で新領域を開拓

- 2030年に実写映画年間15本、フランチャイズ作品累計20本強のヒット創出を目指す。その実現に向け、プロデューサー人材の倍増やFILM社をはじめとした制作ラインの増強を推進
- 地上波番組等の従来の枠組みにとられない映像制作領域を開拓。新会社設立も視野に次世代映像クリエイターとの共創体制を構築へ

経営資源投下で制作パイプラインを増強



次世代クリエイターを中心とした新会社設立も視野に映像制作領域を開拓



● 歴代興行収入ランキングTOP10(邦画・実写)のうちフジテレビ映画は5作品がランクイン※ 2025年度公開7作品のうち20億円超えが4作品 (参考)2025年邦画公開作品694本のうちヒット作と言われる興行収入10億円以上は38作(5%)

2025年度 公開映画

2026年度 公開映画



©2025映画「ブラック・ショーマン」製作委員会

『ブラック・ショーマン』



©員野浩/講談社
©2025映画「爆弾」製作委員会

『爆弾』



©2025 フジテレビジョン
コミックス・ウェブ・フィルム 東宝

『秒速5センチメートル』



©長岡弘樹/小学館
©2026 映画「教場 Reunion/Requiem」
製作委員会

『教場 Requiem』



©2026 フジテレビジョン・ギャガ・
東宝・AOI Pro.

『箱の中の羊』



©2026 映画「SUPER BEAVER LIVE&
DOCUMENTARY ~現在地~」製作委員会

『SUPER BEAVER LIVE&
DOCUMENTARY ~現在地~』



©2026映画「口に関するアンケート」製作委員会

『口に関するアンケート』



©2026 フジテレビジョン

『踊る大捜査線 N.E.W.』

2 制作・ディストリビューション強化 | 実写

パートナー共同プロジェクト展開とバラエティIPの多角化を積極的に推進

パートナー共同プロジェクト複数展開

自社オリジナルIP共同製作

- 国内とグローバルでのヒットを目指すオリジナルIP開発により、グローバル市場におけるフジテレビブランドの浸透を目指す
- 年間1~2本の大型作品を供給できる制作基盤を確立していく



『kiDnap GAME』

- MakerVille(香港)、Sim Story(韓国)と製作委員会方式で共同製作
- フジテレビほか、18の国と地域で放送・配信

海外パートナーIPリメイク開発

- 日本版リメイクドラマを開発
- 地上波や配信で展開

中国



『30女の思うこと
~上海女子物語~』
Linmon Pictures

中国



『時光代理人』
Bilibili

タイ



『転校生ナノ』
GMM Studios International

海外スタジオとの共同企画開発・共同制作

- 世界市場をターゲットとした新作ドラマの共同制作プロジェクトを始動
- 地上波ドラマの枠に閉じない、グローバル基準の企画開発を推進

韓国



グローバルOTTヒットを牽引するスタジオ

バラエティ番組 周辺ビジネス展開加速

周辺ビジネスへの多角展開を見据えた
バラエティIPポートフォリオ構築を目指す



2004年開始『逃走中』はゲームに“物語性”を取り入れ、ゲーム化をはじめ多様な映像作品で収益源を拡大



©フジテレビ・東映アニメーション

アニメ



©2024 フジテレビジョン 東映 FNS27社

映画



舞台



©FUJI TELEVISION ©2025 D3PUBLISHER

ゲーム化ライセンス



©フジテレビ・東映アニメーション ©フジテレビ

ボードゲーム



©フジテレビ

ノベルイズ本

2 制作・ディストリビューション強化 | アニメ

スタジオ制作体制・製作機能強化

制作体制・製作機能強化に向けた投資を推進する※とともに、フジテレビがグループのアニメ領域を統括し、各社の機能連携と統合運用を通じて、事業規模の拡大と競争力の強化を図る

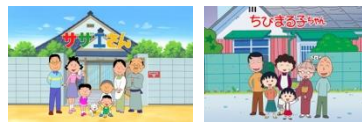
※M&A、資本業務提携の検討を進める

フジテレビ

出資 制作 テレビ放送 配信 海外 商品化
宣伝・タイアップ パッケージ イベント 番販

多彩な放送枠

- 多くのレギュラーアニメ放送枠を擁し、映画、ミニアニメなど多彩なアニメの取り組みを行う
- 製作幹事機能ほか多角的な展開の窓口対応が可能



『サザエさん』 『ちびまる子ちゃん』

david production

出資 制作 海外

制作体制強化

- 原作再現力やCGを融合させる高い技術力に定評
- 制作ワークフロー効率化や制作工程の内製化で「人気原作」への参画を進め、国内外でのスタジオブランド向上を目指す



『ジョジョの奇妙な冒険』 『ホテルの嫁入り』

pony canyon

出資 配給 配信 海外 宣伝・タイアップ
商品化 パッケージ イベント 番販 音楽

一気通貫型

- 企画、配給、パッケージ、音楽制作まで幅広く手掛ける。制作本数を厳選し収益性の向上と持続的な成長を目指す



アニメ 『東京リベンジャーズ』
アニメ 『桃源暗鬼』

FCC

出資 海外 番販

オリジナル作品

- オリジナルアニメ作品を製作
- 海外番組販売の知見を持ち、IPのグローバル展開に強み



『アン・シャーリー』

quaras

出資 商品化 宣伝・タイアップ イベント

プロモーション機能

- 宣伝戦略の策定と実行を担い、作品の認知拡大とファンの熱量を最大化
- リアルイベント、グッズ化事業を積極的に推進



『ガールズバンドクライ』 『黄泉のツガイ』

2 制作・ディストリビューション強化 | 地上波放送・配信事業

IP開発の強化とコンテンツの制作力・商品力向上で自社メディアの発信力を高め、そのメディアパワーがさらにコンテンツ価値を増幅させる循環を目指す

- 地上波放送は経営を支える収益基盤であるとともに「IPバリューチェーンのコアエンジン」として再定義。コンテンツ育成・拡張の核としてその価値を最大化する
- 成長期待の配信事業は、外部プラットフォームも併用しながら地上波や衛星放送との組み合わせ・相乗効果により、コンテンツ価値のさらなる向上を図る

地上波放送

収益力・効率性向上の取り組み

- 強化したコンテンツで視聴シェアを拡大、メディア価値を向上させることで、広告収入を含めた収益力を高めていく
- 情報伝達力と高い信頼性を両立させるインフラとして、全国28局ネットワークのさらなる連携を進める
- 潜在層へ瞬時に届く到達力とブランドセーフティな広告メディアとして広告主の企業価値向上に貢献するとともに広告機能高度化を加速させる
- コンテンツ制作におけるAI活用・DX、バーチャルプロダクション導入等により、一連の制作プロセスを強化・効率化し、利益創出力を底上げ
- FMHへの放送インフラ機能移管等により、グループアセットの共同利用・集約を推進。スケールメリット創出と間接コストの最適化で効率化を図る

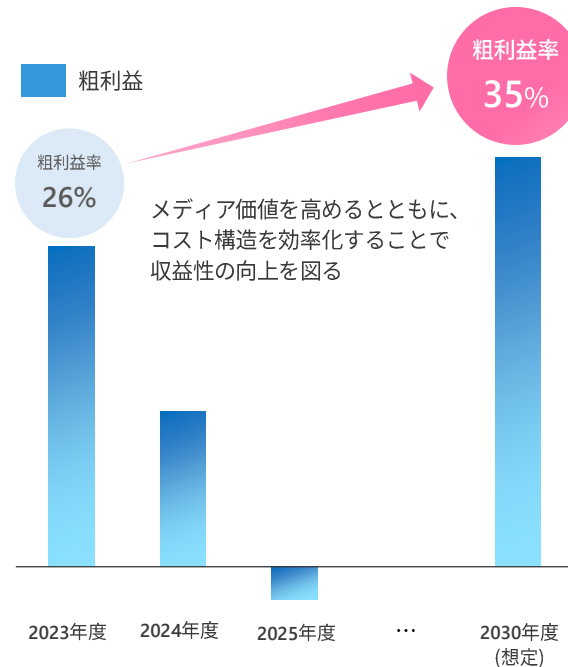
マーケティング羅針盤

AIを活用し、膨大なデータを基盤に視聴者嗜好や広告主ニーズ、番組特性を多角的に分析・可視化。コンテンツ制作や地上波編成の判断を高度化し、人の意思決定の質向上を通じて、収益最大化とプロセス高度化を牽引

アドレスサブル広告

地上波放送の信頼性とリーチ力に、デジタル広告の「ターゲティング、計測、運用性」を融合。日本初、テレビ端末ごとに個別のCMを届ける技術開発に成功。フェイク広告対策を施した「安心・安全な広告環境」の普及も

フジテレビ「放送・メディア」粗利率



配信事業

FOD

- オウンドメディアの核となる成長ドライバーとして資源を投下し、戦略的提携も視野に拡張を目指す
- CSと共に独占提供するF1グランプリ全戦ライブ配信では新しい顧客基盤を獲得
- ドラマ『東京P.D.』では地上波放送からFOD独占のシーズン2へ繋ぐSVOD誘導施策を展開



- 開始から10年を迎え、DL数9,000万、MUB4,460万、再生数6.5億回を誇る日本屈指のプラットフォームへと成長
- フジテレビのコンテンツ強化により、AVODにおけるシェアと売上の最大化を推し進める
- また、1st party dataの活用や自社IPと連携した広告商品の拡充等により、インターネット広告市場の成長を確実に取り込んでいく

2 制作・ディストリビューション強化 | グローバル機能強化

国内ヒットを起点に、迅速な海外展開で収益最大化へ

マーケティングをはじめとする機能強化により展開サイクルを加速

グループシナジーで 海外セールス体制構築へ

国内市場でIP価値を最大化し、
有望作品は迅速に海外展開へ

- 自社創出IPを、グループのメディアアセットを活用して国内ヒット作品へ育成していくとともに、グループ内に点在している海外機能を集約。セールス、プロモーション、マーケティング機能を備えた組織体制を構築し、グローバル展開を加速させる



グループメディアアセットを活用し海外展開を加速

IPライブラリーと新作による 海外展開

配信、リメイク、フォーマット販売等、
多角展開を推進

IP・コンテンツ

- ワールド・メディア・フェスティバル銀賞受賞『新しいカギ』の世界配信 (Netflix) など、国内ヒット作品の海外展開を加速
- 『ロングバケーション』や『リッチマン、プアウーマン』など、豊富な過去作品の海外リメイク制作を拡大



アライアンス

- 「オリジナル作品の国際共同製作」や「海外パートナー保有IPリメイク開発」、「海外スタジオとの共同企画開発・制作」など、世界市場を見据えたアライアンスを加速

オウンドメディア

- 国内縦型ショートドラマアプリとして収益・ダウンロード数1位※の「FOD SHORT」を海外進出。100か国以上への拡大を目指す

※ 2025年12月「SensorTower」調べ



「映像×音楽」 グローバル展開加速

「映像×音楽」の方程式で世界へ。
グループのアセットを結集し、
グローバルヒット創出を目指す

- アニメやドラマ、映画の楽曲タイアップはグループ内のエコシステムとして機能。コンテンツ制作数拡大に併せて、音楽事業との連携を強化
- 音楽とストーリーを融合させたアニメIP原作の開発を検討。映像配信と音楽ストリーミングでシナジーを最大化、世界的な同時ヒットを狙う

アニメとともに
主題歌がグローバル展開



©和久井健・講談社/
アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会

「東京リベンジャーズ」アニメシリーズ
(ポニーキャニオン幹事作品)
主題歌 Official 髭男dism (ポニーキャニオン)
ポニーキャニオン音楽出版管理楽曲

音楽が核となる物語展開



©尾田栄一郎/2022「ワンピース」製作委員会

映画「ワンピース FILM RED」(フジテレビ幹事作品)
主題歌 ウタ from ONE PIECE FILM RED
(歌唱アーティスト Ado)
フジパシフィックミュージック共同管理楽曲

2 制作・ディストリビューション強化 | データ・AI・DX

データ利活用、AI、DXを一体で推進

経済産業省「DX 認定事業者」認定取得し、変革スピード加速へ  DX認定

グループのIT領域を担うフジ・ネクステラ・ラボが持つDX、AX、BCP等の開発・コンサル機能を活用し、グループ全体の業務改革を促進する

データ・AIによるコンテンツ価値向上



データ活用による強固な
コンテンツ価値創出基盤構築

- IP別ROIの可視化による投資判断の適正化
- データに基づく「顧客＝広告主のお客様価値」の向上、販売戦略の最適化と収益最大化を推進
- データに基づく「顧客＝視聴者のお客様価値」の向上、そのPDCAの高度化・定着を急ぐ



AX※による
制作・編成プロセス高度化

- 視聴者ペルソナによるヒット確率予測ツールを開発。人の補佐役として企画判断の精度向上を支援。コーナー構成等の最適化に向けた実証実験(PoC)を推進

※AX:AI Transformation

DX推進・コスト構造改革



制作イノベーションDX推進

- 生成・予測系AIの実装で、制作インフラの高度化を目指す
- 制作から宣伝・PR、セールスまで、バリューチェーン全域をDXで一貫して最適化していく
- テロップ生成・CG描画や、企画リサーチ等の自動化のためのPoCを加速する



コスト構造改革と
AIエージェント実装

- DX・間接費の最適化による全社的なコスト構造のスリム化を推進
- AIエージェントによるBPR推進で、2028年度までに定型業務50%削減を目指す
- 創出したリソースを成長領域(IP等)へ再配分し、強靱な収益体質の構築へ

グループ共通基盤整備



統合型経営ダッシュボード構築

- グループ統合ダッシュボードを整備し、財務・経営指標のリアルタイムでの可視化を進める
- シナリオシミュレーション機能等により経営判断のスピードと精度の向上を図る
- 投資効果の測定とROI評価などデータを基にした知見の蓄積を進める



共通AIインフラによる生産性向上

- FMH内に「AIセンター(仮称)」を創設予定。グループ横断でのAX推進をはじめ、共通AIインフラの整備、社内外との連携強化を行い、グループ各社の生産性を底上げ

03

成長戦略

①

IP開発・獲得

②

制作・ディストリビューション強化

③

IP多角展開

3 IP多角展開 | グッズMD強化

自社IPおよび有力パートナーとの協業を軸にIP展開の多角化を目指す

オリジナルIPリブランディングと 他社IP展開

IP収益最大化に向け
ライセンスビジネス専門会社
「フジ・コンシューマ・プロダクツ(FCP)」設立

- メディアとも連動しガチャピン・ムック等の自社IP価値を拡張中
- 知見を持つ専門人材を活かし、パートナー企業のIPの多角展開など高い成長を期待



グッズMD・EC機能と 組織体制の強化

グッズMD機能強化

独自のグッズ企画・販売網を有する企業や、グローバル展開エージェント機能を持つ企業との協業、資本業務提携を推進していく



EC機能強化

- グローバルに向けた流通機能やニッチ向け販売など、EC機能強化を推進
- アニメ・キャラクター・ドラマ・バラエティ関連グッズをはじめグループ各社が取り扱う商品展開で顧客接点を拡大
- IP価値と収益の最大化を目指す

外部パートナーとの 大規模コラボプロジェクト始動

ガチャピン・ムックを中心に
「みんなともだちの日」を実施

50社・500種超の商品で、
IP価値の再活性化と顧客接点拡大を牽引



©P-kies Family
「みんなともだちの日」

- 「みんなのポンキッキーズ展」では、アーカイブや新作アートで番組文化を発信
- アーティストとの連携で新たなブランド体験創出



主催：株式会社パレロ
合同会社アジ・コンシューマ・プロダクツ /
株式会社フジテレビジョン
「みんなのポンキッキーズ展
P-kies for Everyone」

3 IP多角展開 | ライブエンタテインメント・体験型ビジネス等での新領域開拓

バーチャルからリアルまで、体験型ビジネスを軸に強固なファンダム形成を目指す
従来の枠組みを広げ、新領域を含む多様なビジネス展開を推進

フリーローム型VR事業

毎年2作品のVR新作のリリースを目標とし、
ライセンス販売や海外展開も視野に、
コンテンツの拡充と事業拡大を図る



『THE SUNSET OF MARS』
球体展望室で開催。火星に降り立ち、“自らの足で歩いて探索する”という超没入型体験を最新型VRシステムで実現



『逃走中リミナルワールド VR空間で逃げ切れ』
不気味でシュールな空間「リミナルスペース」に入り、ハンターから逃れるスリルを味わえる

スポーツ周辺ビジネスの多角展開

制作力強化とビジネス領域拡張を目標に、フジテレビ・スポーツ局のプロデュース機能とフジ・メディア・テクノロジー(fmt)の制作クリエイティブ機能を融合(2026年7月予定)し、グループのスポーツ関連コンテンツ・ビジネスの拡張を図る

フジテレビ

スポーツコンテンツとビジネスの創出機能をもとに放送にとどまらず幅広く事業展開

fmt

制作力と技術力を兼ね備えた総合エンタテインメントプロダクションへ進化

コミュニティ・ファンダム形成領域



『オールナイトニッポン』

番組リスナーとパーソナリティによる熱量の高いコミュニティを元に、リアルイベント、Podcast、番組アーカイブ「ANN JAM」などファンが集う場所を提供しファンダムを確立



東京ヤクルトスワローズ アライアンスを強化

地上波・CS放送・FODを基盤に、MDやファンサービスなどスワローズのファンダム拡張と熱量向上に貢献していく

大規模ライブエンタメ領域



『シルク・ドゥ・ソレイユ 日本公演』

世界最高峰のサーカス・エンターテインメント集団、シルク・ドゥ・ソレイユの日本公演をフジテレビが主催



『TOKYO IDOL FESTIVAL(TIF)』
お台場で開催される世界最大のアイドルフェス



『めざましWANGANフェス』
フジテレビの人気番組とコラボレーションし、音楽・笑い・トークライブなど盛りだくさんの9日間



『お台場ファンライジング』
この夏、フジテレビに新しいリアルイベントが誕生！
人気コンテンツと共に最高のエンタメ体験をお届け！

04

成長戦略を支える人的資本戦略

人的資本戦略

IPバリューチェーンを一気通貫で推進できる人材基盤への戦略投資

IPバリューチェーン全体での事業運営を担う推進体制を整備し、成長投資の実行力と成果創出力を高める

人的資本戦略の位置づけ



- 成長戦略の実行段階において、当社グループはIPバリューチェーンを一気通貫で推進できる人材基盤を、競争力の源泉として位置づける
- 人的資本を、成長投資を成果につなげるための重要な資源と捉える

人的資本投資の考え方



重点投資領域の中核人材獲得・育成を中心に

2030年度までに

年間**30億円**規模×5年＝累計**150億円**規模
(目安※)

投資対象・実行状況を踏まえ、柔軟に運用

※都市開発・観光事業への外部資本導入確定後、成長投資全体の規模感と合わせて精査予定

重点投資領域

IPバリューチェーンを
設計・統括する人材

IP創出から展開・収益化までを
一体でプロデュースする中核人材

IPを生み出す
開発人材

「育つIP」を構想できる
人材層の形成

IPの育成・展開を
強化する人材

実写・アニメ等の制作ラインの
厚みやディストリビューション
強化・品質確保

IP価値を拡張・最大化する
専門人材

グローバル・MD/ライセンス・
データマーケティング/AI活用等

05

サステナビリティ

サステナビリティへの取り組み

人権尊重への取り組み

「人権ファースト」を継続
グループ全体の人権尊重・コンプライアンス意識向上をより確かなものに

トップコミットメント

グループ全体で「人権尊重」を
最重要課題として議論を継続

- 当社社長を委員長、グループ各社社長を委員とした「グループ人権委員会」を隔月開催
- 有識者指導下で人権意識とコンプライアンス感覚を継続的にアップデート

グループ横断施策

「人権侵害・ハラスメント」を最大のリスク
と捉え、対話・アンケートによるリスクの
洗い出しを拡大、改善策を検討・導入

- 2026年度以降も年3回以上のグループ全社員に向けた研修・講演会を実施
- 人事評価に「人権・コンプライアンス」項目を追加（2025年度フジテレビで既に実施済み、今後グループ各社へ拡大予定）

グループ相談窓口

2025年8月より
通報窓口を外部の弁護士に委託する
新たな相談窓口を開設

体制強化とともに、
グループ全体でより幅広い事案に
迅速かつ適切に対応できる体制を整備

フジテレビ WEPsに署名し、ジェンダー平等推進の学習プログラムを実施

- フジテレビでは、ジェンダー平等と多様性尊重を重要な経営課題と位置づけ、2025年10月に国連女性機関などが策定した「女性のエンパワーメント原則(WEPs) ※1」に基づき行動するためのステートメントに署名
- 社員による半年間のジェンダー学習プログラムを実施し、2026年3月にその成果をHPで公表※2

In support of

**WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES**

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office

※1：女性のエンパワーメント原則(WEPs)につきましては、UN Women Web サイト<https://japan.unwomen.org/ja/weps> をご参照ください

※2：詳細：2026年3月12日公表「フジテレビWEPsに基づくジェンダー平等推進の実践報告」

サステナビリティへの取り組み

リスク管理体制

あらゆる経営リスクをグループ横断で監督し、リスクを回避・軽減する体制を構築
実効性ある運用の実現へ

リスクポリシー委員会

2025年7月に外部有識者を含む委員4人を選任
客観的な視点からリスクの抽出・評価・方針
策定と運用状況のモニタリングを実施

リスクレジスター

2026年1月～リスクレジスターの運用開始

- 「リスクレジスター」は、グループのリスクを洗い出しリスト化したもので、リスクを分析し、回避・軽減するための計画を策定
- グループ実務担当者会議を定期的実施し、各社で計画実行を推進

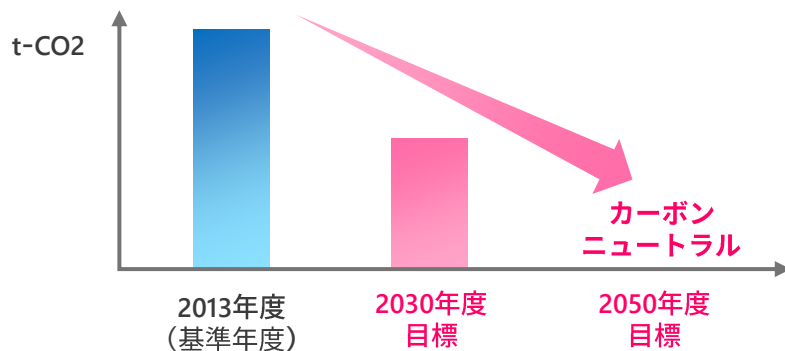
情報セキュリティ対策強化

2026年3月にFMHに新たにデジタル戦略統括室を設置
グループ全体のAI・DX投資を戦略的に推進

- 情報セキュリティリスクの評価、体制の高度化、セキュリティ方針の適宜見直し等によってリスクを最小化
- グループ横断でのデジタルガバナンス体制の確立とセキュリティ対策の一元化により、デジタルリスクマネジメントを強化する

気候変動・環境への取り組み

グループ全体のCO₂排出量を見える化し、連結全体でカーボンニュートラルを目指す



従来目標(2023年5月開示)

フジテレビ・サンケイビル・dinos3社で
Scope1, 2について

- 2030年度までにカーボンハーフ
- 2050年度までにカーボンニュートラル

新目標

CO₂排出量(Scope1, 2)算出の対象を
全連結子会社へ拡大

- 数値を可視化し、削減目標を策定
- 2050年度までにカーボンニュートラル達成へ
主要子会社についてはScope3の算定に着手

FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.

“好きでつながる明日をともに”

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。

実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料の著作権はすべて当社に帰属します。著作権法により認められる場合を除き、当社の承諾を得ることなく本資料を転載、複製、公衆送信等する行為は禁止されています。